

国際交流推進委員会

「国際交流推進委員会」

1. 委員

中山洋子（委員長 福島県立医科大学）

リボウィッツよし子（青森県立保健大学）・村嶋幸代（東京大学）

山本あい子（兵庫県立大学）

2. 趣旨

日本看護系大学としての国際的な活動のあり方について検討し、高等教育に関する国際的なネットワークを整備する。

3. 活動経過

平成 21 年度の活動計画は、①EAFONS、その他、これまでに日本看護系大学協議会として求められた活動、対応についての実績を整理する。②今後の活動およびあり方について検討する、であった。

EAFONS は、2010 年 2 月 19 日、20 日と The Hong Kong Polytechnic University の Dr. Meyrik Chow を大会長として第 13 回 EAFONS が香港で開催された。2 月は、日本の大学にとっては、入学試験、大学院の修士論文、博士論文の審査の時期で、本協議会から 2010 年 2 月 19 日に開催された Executive Committee Meeting に代表を送ることができなかった。EAFONS とのネットワークを確立することは、大学院博士課程をもつ看護系大学にとっては重要であり、今後も日本看護系大学協議会が窓口となって支援していくことは確認されているが、EAFONS は、会員制が確立しているわけではないので、どのような関係を保っていくのかについては課題を残している。

また、各大学で国際交流は行われているがその実態を把握されておらず、国際交流の窓口としての役割を担う上では、情報の整理をしていく必要があると思われる。

4. 課題

今年度実施することができなかった各大学の国際交流の現状を把握するとともに、諸外国の看護学高等教育に関する機関についての情報を収集する。